

**01 国際交流員のコラム - 鹿児島県国際交流員 モラン ベンジャミン -**

○楽しかった CIR オリエンテーション

02 知事の動き

○鹿児島市日中友好協会創立 40 周年並びに鹿児島県日中友好協会創立 20 周年記念式典へ出席しました(11 月3日)

○駐日中国大使と在福岡総領事が訪問されました(11 月4日)

○ブラジル鹿児島県人会の皆さまが訪問されました(11 月4日)

03 かごしまのイベント情報

○第 74 回おはら祭(11 月 2 日, 3 日)

○たるみず千本イチョウ祭り(11 月 22 日~12 月 14 日)

○第 32 回ヨロンマラソン(10 月 25 日, 26 日)

○鹿児島県内を彩るイルミネーション(11 月~1月)

🗓 Coming UP! 【令和8年1月, 2月のイベント情報】

○楽しかった CIR オリエンテーション

鹿児島県国際交流員 モラン ベンジャミン(英国出身)

12月中旬、私は、県の事業の鹿児島県 CIR のオリエンテーションに参加しました。この事業は、毎年実施されており、鹿児島県内の CIR 全員が鹿児島市に集まり、2 日間のオリエンテーションを行いました。

1 日目は、鹿児島県庁で鹿児島県に関するセミナーを受講しました。鹿児島県の観光情報や歴史など多くの事を学んだことに加え、そのセミナーの中で他の地域の CIR との交流を深めることができ、その夜は、次の日の朝の集合時間が早いと感じるほどに鹿児島の夜を他の CIR 達と満喫しました。



2 日目は、県内視察を行いました。午前 9 時に県庁を出発し、最初の目的地である焼酎の酒造場「指宿酒造」に向かいました。私は、車内アナウンスの仕事を担当していましたが、早朝ということもあり、最大の課題は、他の全員を眠らせないことでした！

10 時半頃、1 カ所目の視察先である指宿酒造に到着しましたが、降車するとすぐに酒造のツアーガイドが迎えてくれました。その後、酒造場の中へ案内され、すぐに焼酎の香りに包まれました。（焼酎の酒造場なので、当然のことですが😄）



始めに、焼酎の蒸留工程を最初から最後まで見学しました。次に、焼酎の発酵を促す麴の扱い方、使用する 3 種類の麴（黄麴、白麴、黒麴）の違い、そしてそれらが最終的な味に与える影響について説明を受けました。その後、巨大なタンクに焼酎が貯蔵されている場所へ案内され、指宿酒造が製造する様々な焼酎の香りを嗅いでみました。大きなタンクの周りに集まり、金属製の蓋を開けて、焼酎が並々入ったタンクの中を見させていただきました。

その際、スタッフの方が扇子を使って、しばらくの間、私たち全員に焼酎の香りを行き渡らせてくれました。非常に強い焼酎の香りを嗅がせていただきました。



その後は、12種類の焼酎が並ぶ部屋に案内され、試飲・飲み比べを体験させていただきました。私は、焼酎がとても好きなので、初めて飲む焼酎があったことや、多くの種類の焼酎を飲むことができたことが非常に嬉しかったです。その後のバスでの移動は少しだけ大変でした 😊



昼食は、唐船峡そうめん流しへ向かいました。鹿児島島のそうめん流しは、一般的なそうめん流しとは少し異なっており、円形または半円形の専用の機械を使うのが特徴です。その器の中を水がくるくると回り、客自らがその中にそうめんを流し、箸ですくいて食べるというものです。指宿の唐船峡そうめん流しは、他のそうめん流しの店とは異なり、夏だけでなく一年中営業しているという特別な場所であり、今回訪問することができました。

更に私は焼きマスも食べましたが、お腹がかなり空いていたので写真を撮るのを忘れてしまいました。大変申し訳ありません 😊

唐船峡そうめん流しでは、「唐船峡京田湧水」が使われており、飲み水すらもごちそうでした！焼酎の試飲の後飲む水は、特にさっぱりで非常に美味しく感じました！

食後は、日本最南端の鉄道駅である JR 西大山駅へ向かいました。駅からは、息を呑むほど美しい開聞岳を眺めることができました。オリエンテーション初日のセミナーにて、開聞岳は、海上から非常によく見えるため、外国船が日本に到着したことを示す目印とし利用されていたと学びましたが、実際に見た開聞岳は、圧巻の迫力でした。



この日の締めくくりは、指宿市の海岸にある砂むし会館砂楽への訪問でした。そこで体験した砂蒸し温泉は、地下から湧き出る温泉の熱で自然に温められた砂を利用し、専用の浴衣に着替えて、約10分間、熱い砂の中に体を浸します。砂の重みと熱で体の芯から温まり、砂の下で汗をかきます。温まっている最中は、その日の悩みやストレスが徐々に消えていくのを感じました。その後、伝統的な水風呂に浸かって体を冷やしました。指宿名物の砂むし温泉を堪能し、リラックスできる最高のひとときでした。

鹿児島市への帰路は、国際交流員たちは2日間の疲れからか眠りにつく者も多く、静かな帰路となりました。その後県庁に戻り、CIR 全員がそれぞれの町や市、島へと帰って行き、2日間のCIRオリエンテーションは終わりを迎えました。

CIR オリエンテーションは、自治体に勤務している国際交流員に鹿児島県の魅力に触れてもらうことを目的としています。愛読者の皆様は、来年のオリエンテーションのためのおすすめしたい場所があれば、ぜひ教えていただけると幸いです 😊

02 知事の動き

○鹿児島市日中友好協会創立 40 周年並びに鹿児島県日中友好協会創立 20 周年記念式典へ出席しました(11 月3日)

「鹿児島市日中友好協会創立 40 周年並びに鹿児島県日中友好協会創立 20 周年記念式典」に出席し、来賓としてあいさつをさせていただきました。

歴代の協会役員、会員の皆さまには、本県と中国との架け橋となっただき、日中友好関係の発展にご尽力をいただいていることに対して敬意を表しました。

このたびの節目を契機として、両協会の今後ますますのご発展と、本県と中国との交流の深化、友好関係の発展を祈念しています。



▲式典での挨拶の様子



▲皆様と記念撮影

○駐日中国大使と在福岡総領事が訪問されました(11 月4日)

中国の呉江浩（ごこうこう）駐日中華人民共和国大使と楊慶東（ようけいとう）在福岡中華人民共和国総領事が県庁を表敬訪問されました。

呉大使からは、中国と鹿児島には歴史的に深い繋がりがあることや、将来に向け、地域間交流をはじめとした交流と協力をさらに進めていきたいとお話がありました。

私からは、これからも青少年交流や文化交流、経済交流など、さまざまな面で交流を積み重ねてまいりたいとお話しました。



▲呉江浩大使との記念撮影



▲駐日中国大使館と在福岡総領事館の皆様との記念撮影

○ブラジル鹿児島県人会の皆さまが訪問されました(11月4日)

県が実施する県費留学生受入事業を通じて、本県に留学された方々をはじめとするブラジル鹿児島県人会の皆さまが訪問されました。

この事業は、本県からブラジルなどへ移住された方々の子弟を受け入れ、勉学に励んでいただくとともに、帰国後、本県との架け橋として、相互の経済・文化交流の促進に寄与していただくことを目的とし、昭和45年の事業開始以降、ブラジルから96名の方々を受入れています。

県人会の皆さまからは、おはら祭に参加した感想や、滞在中に焼酎や郷土料理を堪能したことなどをお話いただきました。

私からは、ブラジル鹿児島県人会の若い世代の方々も、本県との縁を大切にいただいていることなどに対し、お礼を申し上げます。

今後とも、これまで築き上げた交流をもとに、ブラジル鹿児島県人会との交流・協力関係を一層発展させていきたいと考えています。



▲上園前会長との記念撮影



▲ブラジル鹿児島県人会の皆様との記念撮影

03 かがしまの観光情報

○第74回おはら祭(11月2日, 3日)

おはら祭は、毎年11月2日・3日に天文館周辺で行われる南九州最大の祭りです。

鹿児島を代表する民謡「おはら節」や「鹿児島ハンヤ節」「渋谷音頭」にあわせて練り踊る「総踊り」を中心に、様々な催しが行われます。

2日の「夜まつり」では総踊り、おごじょ太鼓競演が、3日の「本まつり」では総踊り、おごじょ太鼓競演、マーチング、ダンス「オハラ21」等が行われ、天文館一帯がにぎわいます。

踊り連ごとに色とりどりの衣装をまとった総踊りは圧巻であり、おはら祭前日までは、ライトアップした「花電車」が運行し、雰囲気盛り上げます。

「おごじょ」とは鹿児島の方言で「女性」のことであり、勇ましく美しい薩摩おごじょの太鼓と笛の演奏も必見です。



▲「夜まつり」、「本まつり」の様子 写真提供「鹿児島市」

〇たるみず千本イチヨウ祭り(11月22日～12月14日)

園内に1,200本以上のイチヨウが植えられ、シーズンを迎えると辺り一面は黄金色に染まる、垂水市を代表する名所。園主が奥様と二人三脚で荒れ果てた山を開墾され、40年以上の歳月をかけ作り上げた「黄金の楽園」です。イベント期間中は夜のライトアップがあり、幻想的な雰囲気を楽しめます。



黄色に色づいたイチヨウ並木の様子▶

写真提供「© K. P. V. B」

〇第32回ヨロンマラソン(11月23日)



鹿児島県最南端 与論島で毎年行われる島一周マラソン。与論島は平坦で小さな島ですが、起伏とカーブが多く、マラソンコースとしては厳しいコースです。しかし、青く輝く海沿いを走るポイント、自然を感じるとどこか懐かしい風景など、お気に入りのポイントなど島の外周道路を回るコースでは、思わず立ち止まってしまうような絶景ポイントがいくつもあります。「おかえりなさい」と出迎える島人のあたたかさが魅力でリピーターも多く、全国からランナーが集まる大会です。

○鹿児島県内を彩るイルミネーション(11月～1月)

鹿児島市のアミュプラザ鹿児島や伊佐市の曾木の滝、指宿市のフラワーパークかごしまなど鹿児島県内各地でイルミネーションイベントが開催されます。電球によるライトアップだけでなく、灯籠やキャンドルの明かり、オブジェなど多彩な光で鹿児島の夜が包まれます。

昼間とは違った景色の広がる幻想的な鹿児島の夜を楽しむことができます。



▲県内各地のイルミネーションの様子

(左:アミュプラザ鹿児島, 上:フラワーパークかごしま)

Coming UP! 【令和8年1月、2月のイベント情報】

◇1月

11日 いぶすき菜の花マラソン (指宿市)

25日 第25回 世界一桜島大根コンテスト (鹿児島市)

◇2月

16日 かぎ引き祭り (鹿屋市)

22日 焼酎ツーリズムかごしま 2026

(いちき串木野市, 日置市)

是非足を運んでみてください♪



編集後記 (鹿児島県観光・文化スポーツ部 国際交流課)

慌ただしい季節になりました。

皆さまにとってこの1年は、どのような年だったでしょうか？

突然ですがクイズです！

グーグルが全国の検索動向を調査し、今年1月1日から11月20日に検索回数が前年より大きく伸びたキーワードを発表しましたが、「鹿児島」と一緒に検索されたキーワードの、2025年の急上昇ランキングで“1位”になった言葉は何でしょう？

正解は「隕石落下」だそうです 🌠

8月19日深夜、隕石のような強い光が夜空を照らした出来事が話題となり、多くの方が検索したようです。

(※引用元：南日本新聞)

皆さまの「2025年出来事ランキング」は何でしょう？

来年も、読者の皆さまに鹿児島のさまざまなニュースをお届けできるよう努めてまいります。

来年もお楽しみに(^_^)/~~

「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。

写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▼▲

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号：+81-99-286-2306

FAX 番号：+81-99-286-5522

電子メールアドレス

英語： cir1@pref.kagoshima.lg.jp

中国語： cir2@pref.kagoshima.lg.jp

韓国語： cir3@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県庁ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

鹿児島県観光サイト かごしまの旅

<https://www.kagoshima-kankou.com/>



※ 本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。